

# バス停タイムス

2014年3月31日

No.19

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

## 結婚式に突発休では素直に祝えないよ…(+ +)!

## SMTと団体交渉開催！年休問題等で協議！

大井基地で働く皆さん、大変お疲れ様です。

JR東海労新幹線地本は3月27日、SMTと団体交渉を開催し、年休・要員問題を中心に、職場改善の必要性を強く訴えてきました。

### 要員不足は悪循環の繰り返し！ もっと社員に配慮を！

退職者が多く出ると要員不足となり、その都度採用を行う。しかし、また退職者が後を絶たないという悪循環が続いていることについて「三年前から同じことの繰り返しである！もっと社員に対する配慮が必要である！」と訴えました。必要な要員確保をするためには、社員やパートの定着率を上げるための労働条件の改善が絶対に求められています。これからも強く求めていきます。

### 年休発給率は9割もあるの？ 半分は「病欠」だ！

出向者の年休発給率は9割であるとSMTは答えています。本当でしょうか？昨年10月頃からほとんど取れていないとか、私傷病により休んだ分が年休として処理されたものが半分にも及んでいるという人もあるなど、全てが普通に発給されたわけではありません。また、SMTは大井事業所全体でみた場合の一日の年休発給枠は、日勤が7名程度、夜勤では10名程度が目安であると言っていますが、実際とはあまりにもかけ離れた数ではないでしょうか！それに統合前は各所8名位取れていたことを考えれば、15名は入らなければおかしいのです。私たちは、休日出勤を毎日のように要請してやりくりしてきた現実を突き付け、年休が発給できる適正な要員の確保を強く要求しました。

### 結婚式・入学式も不参加い？ これでは素直に祝えない！

結婚式の招待状を見せても年休の配慮は一切なく、やむなく突発で休んだら不参加いで、皆勤手当が無くなる。このようなやり方について「絶対におかしい！あえて突発休を取らせて、『年休』消化と『皆勤手当』節約を考えているのではないのかとさえ思える！いかがなものか！」と鋭く追及しました。SMTはこれに対して返す言葉が無く、かろうじて「抽選制度は始めたばかりなのでもう少し様子を見たい」と答えるのがやっとでした。

## 社員の生活を配慮しない機械的な「抽選」は公平公正か？

年休発給について冠婚葬祭など「事由を加味する考えはない」「抽選が公平公正である」というのがSMTの回答です。はたしてそうでしょうか？

私たちは「生活設計がたたない。社員の生活をもっと考慮すべきだ。血の通った人間が働いているのだ。機械的にバツサリやることが公平公正とはいえない。そういうことが定着率にも影響している。あらためるべきだ」と強く主張しました。

### 「復活(年休)」は急な退職者に備えてのもの！

年休の抽選結果発表の後の25日の勤務発表でいわゆる「復活(年休)」が発生するのは「年休の抽選結果発表後に退職者が出た場合の対処のためである」と回答しました。毎月退職者が出る事を想定しているということです。本来は、その前に「毎月退職者が出ないように職場環境や労働条件改善などを図るべきである」と強く抗議しました。

## 組合員の健康と命のために業務の担務変更を！

また、東京駅ファシリティ(旧東京ターミナル事業所)に出向中の組合員が健康上の理由から身体の負担が軽減できる業務への担務変更を求め、主治医から「軽作業が望ましい」との診断書もSMTに提出しました。

### 担務変更しないのは産業医の判断！それに従っている！

しかし、これに対してSMTは「そのような考えはない」と全く誠意のない回答を行いました。その根拠は「産業医は現行業務に就くことは問題ないと言っている。それに従っている」からと答えました。「このままで、もしも当該組合員が倒れるなどした場合SMTは責任を持てるのか」という問いに対して、あくまでも産業医の判断を拠り所として、責任の所在について明確に答えることができませんでした。私たちは「そのような回答は絶対に認められない。今後も担務変更を求めていく」と強く抗議しました。

### 今後も職場改善に向けて声を上げていきましょう！！

ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>

メールアドレス

[jrcushinkansen@yahoo.co.jp](mailto:jrcushinkansen@yahoo.co.jp)

お気軽にアクセスしてください